



コロナ対策は市の持ち出し 9,000万円にとどめず大胆な経済支援を

松岡あつし議員(政和会)

市長 ①各団体の財政調整基金の活用方針は承知してない。

②財政状況を見極め検討する。
③水道料金免除等は困難。固定費へ市独自支援は考えてない。
④業種や地域ごとの経済状況は捉えていない。
⑤設定していない。

【掲載分以外の質問項目】

緊急事態宣言解除後の施策として子どもや高齢者の健康を守る施策を進めよう
○新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波に備えPCR検査センターの設置を
○市長は小平市版ICT教育・オンライン授業の確立と環境整備を進めるべき



市独自の新型コロナウイルス感染症対策でピンチをチャンスに

山田大輔議員(政和会)

市独自の新型コロナウイルス感染症対策でピンチをチャンスに

①特別定額給付金を地域活性化のために使うキャンペーンを実施するべきだが見解は
②ふるさと納税を生かし、事業者支援を目的としたクラウドファンディング実施への見解は
③市独自でアーティスト支援を実施すべきだが見解は
④児童・生徒にウェブ授業などICT教育を構築すべきでは
市長 ①市内で消費を循環させる仕組みを盛り込むことは難しいが、市内で消費を促すキャンペーンの展開等について、今後、商工会等と連携し検討していく。



いかなる状況下でも支援等が必要な人たちを支える仕組みを

山浦まゆみ議員(生活者ネットワーク)

いかなる状況下でも支援等が必要な人たちを支える仕組みを

①こだいら生活相談支援センターの相談件数及び内容は
②コロナ禍での子ども家庭支援センターのDV等対応状況は
③コロナ禍での民生委員・児童委員の活動状況は
④コロナ禍での乳児家庭全戸訪問事業の実施状況は
⑤あおぞら福祉センターやたつた在宅支援含め障害福祉サービスや相談支援を継続している
⑥継続的な支援を要する人の増加が予想され、引き続き、こだいら生活相談支援センターと連携し相談に対し確実かつ迅速に支援できるよう対応していく。



感染症と相談数増加/休校と学習環境整備/コロナ対策の基金

水口かずえ議員(まちづくり市民こだいら)

新型コロナウイルス感染症拡大と相談件数増加への対応

①小平市社会福祉協議会への緊急小口資金の申請件数は
②社会福祉協議会の対応人数増加の必要性に対し市の支援は
市長 ①本年4月は194件、5月は25日時点で279件で、昨年4月は4件、5月は2件である。

新型コロナウイルス感染症対策のための基金を設立できないか

②現在のところ支援予定はないが、引き続き情報を共有する。
休校の影響を緩和するための学習環境の整備等について
質問 家庭学習通信環境整備支援のためのモバイルルーターの借上げ台数が380台では足りない



学校給食休止に伴う給食食材納入業者に対する補償について

比留間洋一議員(政和会)

学校給食休止に伴う給食食材納入業者に対する補償について

①納入業者と給食食材補償費についての協議は行ったか
②市では、納入業者宛てに補償費請求の文書を5月20日に送付しているが、納入業者のうち何割の業者が申請すると考えるのか。
③契約書に、物資の所有権は検量・検収に合格したとき、受注者から発注者に移転するものとし、移転前に生じた損害は全て受注者の負担とするところが、発注者の発注取消しはどちらの負担と考えているのか。
④全納入業者と補償の協議は

新型コロナウイルス感染症の影響が生じている事業者の支援を

①令和2年3月分の補償については、4月に補償費の請求に関する意思確認を全事業者に行い、詳細を協議中である。
②4月の意思確認では、約3分の1の事業者から請求の意思がある旨の回答を得ている。
③納品前の場合には受注者負担となるが、今回の給食中止に伴う農作物については、転売等ができたものを除いた金額について、補償を行うこととした。
④4月以降についても、今回の給食の中止に伴う売上げ減少分について、全ての納入事業者と補償に関する協議を行う予定である。



新型コロナウイルス感染症の影響が生じている事業者の支援を

福室英俊議員(政和会)

新型コロナウイルス感染症の影響が生じている事業者の支援を

①一般会計補正予算第2号で予算化できなかったことは
②デリバリー、テイクアウト実施の事業者に市独自の支援を打ち出すべきだが、市の見解は
③国民健康保険の個人事業主が、新型コロナウイルスに罹患して一定期間働けなくなった場合の見舞金制度をつくるのが、有効な策と考えるが、見解は
④都の感染拡大防止協力金の対象外だった事業者は、マスク等衛生費や設備投資等で少なくない出費があったが、市独自で補助を打ち出すべきでは

議員の寄附行為は禁止されています

政治家が、選挙区内の人や団体にあいさつ状(答礼のための自筆によるものは除く)を出したり、お金や物を贈ることは、時期や理由を問わず法律で禁止されています。受け取った人も罰せられます。また、有権者が政治家に対し

用語の解説

※1 PCR検査とは
PCRは、Polymerase Chain Reaction(ポリメラーゼ連鎖反応)の略で、ウイルスに含まれる特定の遺伝子を増やして調べる検査方法のこと。新型コロナウイルス感染症の検査には、精度や効率性を考慮して、現時点でこの方法を用いることが多い。
※2 3つの密(3密)とは
密閉、密集、密接のこと
※3 ヘイトスピーチとは
一般的に、デモやインターネットなどにおいて、特定の国の出身者であることやその子孫であることのみを理由に、一方的に社会から追い出そうとしたり危害を加えようとする言動のこと。
※4 Googleマイビジネスとは
Google社が提供するサービスのことで、Google検索やGoogleマップ等のサービス上にプロフィール

※5 財政調整基金とは
大幅な税収減、災害発生などによる臨時の出費等への備えや、年度間の財源不均衡を調整するために積み立てられる貯金のこと。
※6 KGIとは
Key Goal Indicator(重要目標達成指標)の略で、組織が行う経営戦略等において達成すべき最終的な目標を数値や数量で表した指標のこと。
※7 KPIとは
Key Performance Indicator(重要業績評価指標)の略で、達成すべき最終的な目標に対し、どれだけ進捗したかを数値や数量で評価するための指標のこと。
※8 緊急小口資金(特例貸付)とは
各都道府県の社会福祉協議会が実施している貸付け制度のこと。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入が減少し、緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった世帯に、費用の貸付けを行っている。

寄附を求めるとも禁止されています。具体例は次のとおりです。
○お中元やお歳暮
○秘書や家族などが代理で出席する場合の結婚祝いや香典
○葬式の花輪や供花
○落成式、開店祝いの花輪やお祝い
市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。